（別紙様式）

令和６年度　福島県特別支援教育センター　専門研修講座№7　協議資料

一貫した教育支援を実現する連携の在り方

～つなぐ・つながるために必要なこと～

所属名　　　　　　　　　　　　　　　氏　名

１　持参資料（個別の教育支援計画）の対象幼児児童生徒をイメージして、記入してください。

〈観点〉今の支援内容を、一緒に支援する人たちと共有する

　　　　これまでの支援内容を次の支援者に伝える（次の支援者として受け取る）

　※記入の際、例示は削除してかまいません。

|  |  |
| --- | --- |
| ＜一貫した支援の実現のために支援の情報共有が必要な場面について＞ | |
| （情報共有を必要とする場面） | （情報を共有したい相手） |
| 例）書きにくさのある対象児の負担を軽減する場面 | 教科担当者 |
| 例）保育園から小学校への引継ぎ | 就学先の担当者 |
|  |  |
|  |  |
| 支援の情報共有に当たって、現在行っていること、大切にしていること、大切にしたいけれど難しさを感じていることを記載してください。 | |
| ・現在行っていること  ・大切にしていること  ・大切にしたいけれど難しさを感じていること | |

２．これまで実施した一貫した教育支援の実現に向けた取組で、有効だったものについて記入してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ＜一貫した支援の実現のために支援の情報共有が必要な場面について＞ | | |
| （情報共有が必要な場面） | （情報共有をする相手） | （有効だった取組） |
|  |  |  |
|  |  |  |

※８月２２日（木）午後５時までに提出する。